

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

昭和53年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

## 序

京都大学構内遺跡の調査は、まがりなりにも、敷かれた軌道の上を歩きはじめたが、その成果はかなりのものであった。従来から知られている資料と関連するもの以外に、本年度は、弥生時代の方形周溝墓群と、平安時代の火葬塚の発見が目される。とくに後者は、考古学的に発掘調査された初めての遺跡である。その火葬塚を現地保存することになったのは、当センターの本来の目的の一つを具体的に実行したのものとして、高く評価されよう。当該遺跡保存について、深い理解を示された理学部当局、本部事務局に対し、深甚の敬意を表するとともに、本官が海外出張のための不在期間中に、センター長の職務を代行して下さった西川幸治工学部教授、京都大学構内遺跡調査会会長の亀井節夫理学部教授ならびに当センター運営協議会委員、京都大学構内遺跡調査会委員らが本件の解決に努力して下さったことに対し、感謝にたえないところである。

なお本年度の調査の実施と本年報の作成にあたっては、また多くの人々の御協力をいただいた。上記両機関の委員の諸先生には、それぞれの専門分野からの御教示を得たし、それ以外にも、小林行雄、福山敏男、杉山信三、小野山節の諸先生からは、有益な御指導をいただいた。また、宮内庁書陵部、文化庁文化財保護部、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、岡山県教育委員会、京都市文化観光局、向日市教育委員会、倉敷考古館、服部遺跡調査団などの多くの機関の方々から御助言をいただいた。また、京都大学施設部、経理部、庶務部と各原因部局の御協力を得た。ここに、厚く御礼申しあげる次第である。

昭和 54 年 1 月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

樋 口 隆 康

## 例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で昭和53年1月から同12月末日までに現場作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告、およびそれに関する研究をまとめたものである。
- 2 国土座標に従って1辺50mの方形の地区割をし、遺跡の位置を表示した(図版1)。
- 3 層位と遺構の位置は、国土座標第Ⅵ座標系( $x=-108,000$   $y=-20,000$ )が( $X=2,000$   $Y=2,000$ )となる京都大学構内座標によって表示し、標高の基準は理学部地質学教室地階重力原点(TP:60.82m)によった。方位Nは真北をさす。
- 4 遺構の略号を使う場合は、奈良国立文化財研究所の方式に従って、溝(SD)、井戸(SE)のように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物番号は本文、実測図、写真を通して表示を統一した。遺跡の調査名であるローマ数字のあとに、調査ごとの通し番号を1から付した。  
Ⅰ：京大医学部遺跡 AO18 区発掘調査。  
Ⅱ：京大理学部遺跡 BE 29 区発掘調査。  
Ⅲ：京大農学部遺跡 BG32 区発掘調査。  
Ⅳ：白河北殿跡比定地 AA18 区試掘調査。  
Ⅴ：Ⅳを除く京大吉田キャンパスの試掘調査。  
(例 Ⅰ1：京大医学部遺跡 AO18 区出土遺物1番)
- 6 参考文献は、本文中に〔著者名、発表年次〕の形式で表わし、本文末に一括した。
- 7 遺物整理は京都大学構内遺跡調査会調査員と調査補助員があたった。
- 8 遺物の実測と製図は、泉拓良、宇野隆夫、岡田保良、吉野治雄、浜崎一志、西野素生、原充、山口理子が担当した。遺物の写真撮影は泉拓良が担当した。
- 9 本文は、樋口隆康、亀井節夫、泉拓良、宇野隆夫、岡田保良、吉野治雄、中堀謙二が各章を分担執筆し、執筆者名は章の初めに記した。
- 10 編集は樋口の指導のもとに岡田がおこない、泉、宇野、吉野が協力した。

# 京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度

## 目 次

### 第1部 昭和53年度京都大学構内遺跡の調査

第1章 昭和53年度京都大学構内遺跡調査の概要と成果	1
1 調査の概要	1
2 調査の成果	2
第2章 京大医学部遺跡 AO18 区の発掘調査	7
1 層位	7
2 遺構	8
3 遺物	12
4 小結	16
第3章 京大理学部遺跡 BE29 区の発掘調査	17
1 遺跡の立地と調査経過	17
2 層位	18
3 遺構	19
4 遺物	25
5 考察	32
第4章 京大農学部遺跡 BG32 区の発掘調査	39
1 層位	39
2 遺構	40
3 遺物	41
4 小結	42
第5章 白河北殿跡比定地 AA18 区の試掘調査	43
1 調査の目的	43

2	層位と遺構	43
3	遺物	44
4	小結	46
<b>第6章 京都大学吉田キャンパスの試掘調査</b>		47
1	教養部エレベーター新営予定地の試掘調査(AN23・AQ23区)	47
2	本部構内排水ポンプ新営予定地の試掘調査(AT27区)	50
3	工学部電気工学科等校舎新営予定地の試掘調査(AW28・AX28区)	52
4	環境保全センター重金属処理装置室新営予定地の試掘調査(AY25区)	53
5	医学部附属病院西構内電気管理設予定地の試掘調査(AI14区ほか)	54
<b>第7章 京都大学構内遺跡の花粉分析</b>		55
1	試料	55
2	分析方法	55
3	分析結果と考察	56
4	小結	59
<b>第2部 京都大学構内遺跡の研究</b>		
<b>第8章 京都大学構内遺跡と京・白河</b>		61
1	はじめに	61
2	京都大学構内遺跡検出の遺構	61
3	白河条坊の検証	66
4	京都大学構内遺跡の北と南	69
5	まとめ	70
<b>第9章 鴨東の開発——平安京と京近郊——</b>		71
1	文献に現われた山城国愛宕郡	71
2	鴨東の遺跡	76
3	まとめ	78
<b>参考文献</b>		81
<b>京都大学構内遺跡調査要項</b>		84

## 図版目次

- 1 京都大学吉田キャンパス地区割図
- 2 京大医学部遺跡 AO18 区 1. 第5層発掘後全景 2. 土塁状遺構 SA1 と溝 SD1
- 3 京大医学部遺跡 AO18 区 1. 井戸 SE6 2. 井戸 SE8 3. 土坑 SK11  
4. 土器溜 SK15
- 4 京大医学部遺跡 AO18 区 1. 土器溜 SK16 2. 瓦溜 SK12 3. 集石 SX2  
4. 石段状遺構 SX3
- 5 京大医学部遺跡 AO18 区 井戸 SE8 出土の須恵器と陶器
- 6 京大医学部遺跡 AO18 区 軒瓦
- 7 京大理学部遺跡 BE29 区 1. 発掘前全景 2. 第1検出面の遺構全景
- 8 京大理学部遺跡 BE29 区 1. 第2検出面の遺構全景 2. 第3検出面の遺構全景
- 9 京大理学部遺跡 BE29 区 1. 発掘区南壁東部の層位と方形周溝墓Ⅲ東辺断面  
2. 発掘区北壁西部の層位と方形周溝墓Ⅰ西辺断面
- 10 京大理学部遺跡 BE29 区 1. 火葬塚 SX1 検出 2. 土坑 SK2 断ち割り  
3. 火葬塚 SX1
- 11 京大理学部遺跡 BE29 区 1. 方形周溝墓Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 2. 方形周溝墓Ⅰ南周溝内の  
土器 3. 方形周溝墓Ⅲ東周溝内の土器
- 12 京大理学部遺跡 BE29 区 弥生土器, 縄文土器, 須恵器, 灰釉陶器, 緑釉陶器, 瓦
- 13 京大農学部遺跡 BG32 区 1. 土坑 SK1 と溝 SD1 2. B区西壁 a 地点の層位
- 14 京大農学部遺跡 BG32 区 1. C区東端南壁の層位 2. C区西部南壁の層位  
3. 縄文土器 4. 黒色土器, 土師器
- 15 白河北殿跡比定地 AA18 区 1. 調査地全景 2. 南トレンチ南壁層位 3. 南トレン  
チの遺構 4. 土師器, 灰釉系陶器, 軒平瓦
- 16 京都大学吉田キャンパスの試掘調査 1. 教養部 AQ23 区 TP1 第10層出土の弥生土器  
2. 教養部 AN23 区 TP2 溝 SD1 出土の瓦と羽口  
3. 本部構内 AT27 区出土の須恵器, 陶磁器, 土師器  
4. 工学部 AW28 区 TP3 西壁の道路断面

## 挿 図 目 次

1	施設部給水センター建物新営予定地の層位	6
2	南壁と西壁の層位	8
3	発掘区のおもな遺構	9
4	土坑 SK4 の上部集石	11
5	土坑 SK4 の遺物出土状況	11
6	土器溜 SK16 出土の土器	13
7	井戸 SE5 出土の土器	14
8	土器溜 SK14 出土の土器	14
9	土坑 SK11 出土の土器	14
10	土器溜 SK2・SK3 出土の土器	15
11	TP4 北壁の層位	17
12	西壁と南壁の層位	19
13	第1検出面の遺構	20
14	土坑 SK1 の断面	20
15	第2・第3検出面の遺構	21
16	土坑 SK2 の断面	22
17	第3検出面の弥生時代遺構	23
18	方形周溝墓Ⅰの土器出土状況	24
19	北壁にみる方形周溝墓Ⅰの西辺断面	24
20	方形周溝墓Ⅲの土器出土状況	24
21	縄文土器と弥生土器	25
22	弥生土器	26
23	弥生土器Ⅱ9の頸部擬口縁	26
24	弥生土器Ⅱ9の胴部文様	27
25	土師器	28
26	黒色土器と瓦器	29
27	須恵器, 灰釉陶器, 緑釉陶器, 中世陶器	30

28	輸入磁器	31
29	瓦	31
30	錢貨	32
31	BE30 区出土の土器	33
32	調査区域	39
33	B 区東壁の層位	40
34	D 区東壁の層位	40
35	縄文土器	41
36	土坑 SK1 出土の土器	42
37	溝 SD1 出土の土器	42
38	遺構平面	44
39	南トレンチ西壁・南壁，北トレンチ北壁の層位	45
40	第7・8 層出土の土器	45
41	瓦と弥生土器	46
42	TP1 東壁の層位	47
43	TP1 黒褐色土Ⅳ(第10層)出土の弥生土器	48
44	TP2 遺構平面	48
45	TP2 東壁の層位	49
46	TP2 溝 SD1 出土の土器	49
47	調査区域	50
48	TP1 南壁の層位	50
49	TP2 北壁の層位	51
50	溝 SD2 出土の須恵器	51
51	試掘坑位置図	52
52	TP1 北壁の層位	52
53	TP3・TP2・TP4 の層位	53
54	TP1 西壁の層位	54
55	TP5 東壁の層位	54
56	花粉分析試料 2・3 の採取層位	57
57	花粉分析試料 5・6 の採取層位	57

58	京都大学構内遺跡のおもな調査地点と遺構	64・65
59	白河条坊とおもな調査地点	67
60	平安時代の鴨東	73

## 表 目 次

1	理学部遺跡 BE29 区出土遺物対照表	35
2	花粉分析表	56
3	京都大学構内遺跡のおもな検出遺構	63
4	白河地域におけるおもな検出遺構	67
5	京都大学構内遺跡調査の歴史	89

昭和54年3月25日印刷

昭和54年3月31日発行

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

昭和53年度

編集 京都大学埋蔵文化財研究センター

印刷 中西印刷株式会社  
京都市上京区下立売通り小川東入